

顔 face



藤岡正明さん。射水市の市民グループ「きららかネットワーク」理事長。竹林整備に取り組み、里山再生を目指す【25面】

## 射水・きららかネット 竹林整備しすみか

# カブトムシ呼び込め

竹炭作りなどを通して里山の環境整備に取り組む射水市の市民グループ「きららかネットワーク」（藤岡正明理事長）のメンバーが28日、同市黒河新（小杉）の竹林で、竹を伐採し、カブトムシのすみかを作った。産卵場所となるように、竹を粉碎したチップを山のように積み上げた。来夏、多くのカブトムシが羽化すれば「子どもたちにプレゼントしたい」と、メンバーは楽しみにしている。



伐採した竹をチップにしてカブトムシのすみかにする作業に取り組むメンバー

黒河周辺には多数の区画に分かれて個人所有の竹林が広がる。手入れが行き届かず、繁殖力の強い竹が密集し荒れた竹林もある。きららかネットワークは竹林が荒れるのを防ごうと、増えすぎた竹を伐採し、炭焼きを行っている。竹炭を活用したコーヒール、パンなどを開発し特産化も目指す。

活動にはメンバー約15人が参加し、チェーンソーで竹を伐採。森づくり団体を支援する「とやまの森づくりサポートセンター」が用意した粉碎機を使い、カブトムシを呼び込む竹チップの山を作った。

メンバーは汗びっしょりになりながら200本程度の竹を伐採。竹が過密していた竹林は見通しが良くなり、それぞれ満足そうな表情を浮かべていた。